

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和6年4月1日(2024.4.1)

【国際公開番号】WO2022/211574

【公表番号】特表2024-512813(P2024-512813A)

【公表日】令和6年3月19日(2024.3.19)

【年通号数】公開公報(特許)2024-051

【出願番号】特願2023-561148(P2023-561148)

【国際特許分類】

C 0 7 D 2 6 3 / 5 8 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 7 D 2 6 3 / 6 0 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 K 3 1 / 4 2 3 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 1 3 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)

A 2 3 L 3 3 / 1 0 (2 0 1 6 . 0 1)

C 1 2 N 1 5 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 7 D 2 6 3 / 5 8 C S P

C 0 7 D 2 6 3 / 6 0 Z N A

A 6 1 K 3 1 / 4 2 3

A 6 1 P 1 3 / 1 2

A 2 3 L 3 3 / 1 0

C 1 2 N 1 5 / 1 2

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月12日(2024.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

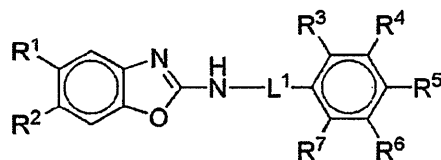
【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記化学式1で表される化合物またはその薬学的に許容可能な塩を含む慢性腎臓疾患の予防または治療用薬学組成物：

【化1】

[化学式1]



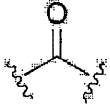
40

(前記化学式1において、

L¹は、単一結合または

50

【化 2】



であり；

R¹およびR²は、それぞれ、-H、-OH、C₁-10の直鎖または側鎖アルキル、またはC₆-8のアリールアミドであり、ここで、前記アリールアミドのアリールには、ハロゲン、-NO₂およびC₁-10の直鎖または側鎖ハロゲン化アルキルのうち1種以上が置換されることができ；

10

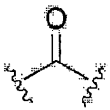
前記R¹およびR²は、これらが連結された炭素原子とともにC₆-8のアリールを形成することができ；

R³、R⁴、R⁵、R⁶およびR⁷は、それぞれ、-H、ハロゲン、-NO₂またはC₁-10の直鎖または側鎖アルキルである)。

【請求項 2】

前記L¹は、単一結合または

【化 3】



であり；

R¹およびR²は、それぞれ、-H、-OH、C₁-5の直鎖または側鎖アルキル、またはC₆-7のアリールアミドであり、ここで、前記アリールアミドのアリールには、ハロゲン、-NO₂およびC₁-5の直鎖または側鎖ハロゲン化アルキルのうち1種以上が置換されることができ；

20

前記R¹およびR²は、これらが連結された炭素原子とともにC₆-7のアリールを形成することができ；

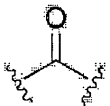
R³、R⁴、R⁵、R⁶およびR⁷は、それぞれ-H、ハロゲン、-NO₂またはC₁-5の直鎖または側鎖アルキルであることを特徴とする請求項1に記載の薬学組成物。

30

【請求項 3】

前記L¹は、単一結合または

【化 4】



であり；

R¹およびR²は、それぞれ、-H、-OH、-CH₃、またはフェニルアミドであり、ここで、前記フェニルアミドのフェニルには、-Cl、-NO₂および-CH₂Clのうち1種以上が置換されることができ；

40

前記R¹およびR²は、これらが連結された炭素原子とともにフェニルを形成することができ；

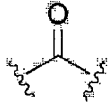
R³、R⁴、R⁵、R⁶およびR⁷は、それぞれ、-H、-F、-Cl、-NO₂または-CH₂CH₃であることを特徴とする請求項1に記載の薬学組成物。

【請求項 4】

前記L¹は、単一結合または

50

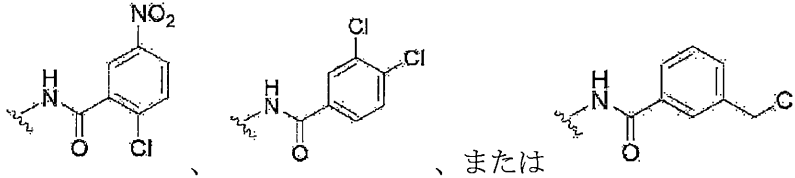
【化 5】



であり；

R¹ は、- H、- O H、- C H₃、

【化 6】



10

であり；

R² は、- H であり；

前記 R¹ および R² は、これらが連結された炭素原子とともにフェニルを形成することができ；

R³ は、- H または - C l であり；

R⁴ は、- H、- F または - C l であり；

20

R⁵ は、- F、- C l、- N O₂、または - C H₂ C H₃ であり；

R⁶ は、- H であり；

R⁷ は、- H であることを特徴とする請求項 1 に記載の薬学組成物。

【請求項 5】

前記化学式 1 で表される化合物は、下記化合物群から選択されるいずれか一つであることを特徴とする請求項 1 に記載の薬学組成物：

1) N - (ベンゾ [d] オキサゾール - 2 - イル) - 2 - クロロ - 4 - ニトロベンズアミド；

2) 8 - メチル - 2 - [N - (3 , 4 - ジクロロフェニル)] アミノベンゾオキサゾール；

30

3) 2 - ((3 , 4 - ジクロロフェニル) アミノ) ベンゾ [d] オキサゾール - 5 - オール；

4) N - (2 - (4 - エチルフェニルアミノ) ベンゾ [d] オキサゾール - 5 - イル) - 2 - クロロ - 5 - ニトロベンズアミド；

5) N - (2 - (4 - エチルフェニルアミノ) ベンゾ [d] オキサゾール - 5 - イル) - 3 , 4 - ジクロロベンズアミド；

6) N - (2 - (4 - エチルフェニルアミノ) ベンゾ [d] オキサゾール - 5 - イル) - 3 - (クロロメチル) ベンズアミド；

7) 2 - [N - (3 , 4 - ジクロロフェニル)] アミノベンゾオキサゾール；

8) N - (3 , 4 - ジクロロフェニル) ナフト [2 , 3 - d] オキサゾール - 2 - アミン；

40

9) N - (3 , 4 - ジフルオロフェニル) - 5 - メチルベンゾ [d] オキサゾール - 2 - アミン；および

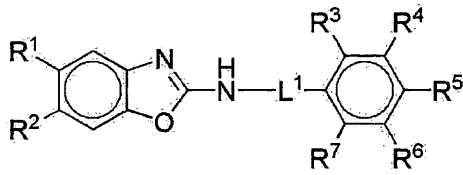
10) N - (3 , 4 - ジフルオロフェニル) ベンゾ [d] オキサゾール - 2 - アミン。

【請求項 6】

下記化学式 1 - 1 で表される化合物またはその薬学的に許容される塩を含む慢性腎疾患の予防または治療用薬学組成物：

【化 7】

[化学式 1-1]



(前記式 1 - 1 において、

L¹ は、単結合であり；R¹ および R² は、それぞれ、- H、または C₁ - 10 の直鎖または側鎖アルキルであり；R³、R⁴、R⁵、R⁶ および R⁷ は、それぞれ、- H、またはハロゲンである)。

10

【請求項 7】

前記組成物は、クロソ遺伝子の発現量を向上させることを特徴とする、請求項 1 に記載の薬学組成物。

【請求項 8】

前記慢性腎疾患は、3ヶ月以上持続する腎障害があるか、または腎機能が低下する疾患状態として定義されることを特徴とする、請求項 1 に記載の薬学組成物。

20

【請求項 9】

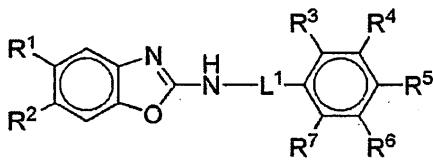
前記慢性腎臓疾患は、慢性腎炎、慢性腎盂炎、腎症候群、慢性腎盂腎炎、尿路感染症、糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、ネプローゼ症候群、小糸球体硬化症、膜性腎症、および膜性増殖性糸球体腎炎からなる群から選択される1つ以上の疾患を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の薬学組成物。

【請求項 10】

下記化学式 1 で表される化合物またはその薬学的に許容される塩を含む慢性腎臓疾患の予防または改善のための健康機能食品組成物：

【化 8】

[化学式 1]

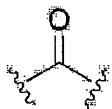


(前記化学式 1 において、

L¹ は、単一結合または

30

【化 9】



であり；

R¹ および R² は、それぞれ、- H、- OH、C₁ - 10 の直鎖または側鎖アルキル、または C₆ - 8 のアリールアミドであり、ここで、前記アリールアミドのアリールには、ハロゲン、- NO₂ および C₁ - 10 の直鎖または側鎖ハロゲン化アルキルのうち 1 種以上が置換されることができ；前記 R¹ および R² は、これらが連結された炭素原子とともに C₆ - 8 のアリールを形成することができ；

40

50

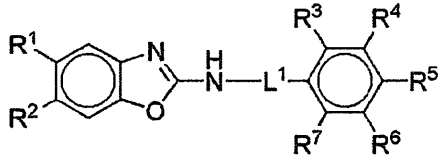
R^3 、 R^4 、 R^5 、 R^6 および R^7 は、それぞれ、-H、ハロゲン、-NO₂またはC₁₋₁₀の直鎖または側鎖アルキルである)。

【請求項11】

下記化学式1で表される化合物またはその薬学的に許容される塩を含む慢性腎臓疾患の予防または改善のための食品組成物：

【化10】

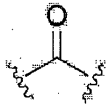
[化学式1]



10

(前記化学式1において、
L¹は、単一結合または

【化11】



20

であり；

R^1 および R^2 は、それぞれ、-H、-OH、C₁₋₁₀の直鎖または側鎖アルキル、またはC₆₋₈のアリールアミドであり、ここで、前記アリールアミドのアリールには、ハロゲン、-NO₂およびC₁₋₁₀の直鎖または側鎖ハロゲン化アルキルのうち1種以上が置換されることができ；

前記 R^1 および R^2 は、これらが連結された炭素原子とともにC₆₋₈のアリールを形成することができ；

R^3 、 R^4 、 R^5 、 R^6 および R^7 は、それぞれ、-H、ハロゲン、-NO₂またはC₁₋₁₀の直鎖または側鎖アルキルである)。

30

40

50